

授業科目名	小児保健看護援助論	担当教員	◎吉野 妙子、大野 知代、 高橋 玲子、光永 昂輝、 新井 裕貴	科目ナンバリング NS387
必修	開講年次：3年前期	単位：2単位	授業形態：演習60時間	

【授業概要】

小児看護学概論で学んだ子どもの発達や生活の特色、家族の役割等を基盤として、子どもやその家族の状況や疾患に対する看護について学ぶ。

【達成目標】

健康障害を持つ子どもと家族が生活・療養するための看護実践について修得する。

1. 病気や入院が子どもに与える影響とその看護が説明できる。
2. さまざまな状況にある子どもと家族への看護が説明できる。

【履修条件】

「小児保健看護学概論」を修得していること。

【授業計画】

[01] 健康障害が子どもと家族に与える影響	(吉野)
[02] 子どもの健康障害と看護：子どもと家族の看護の方向性、子どもの権利	(吉野)
[03] 外来における子どもと家族の看護：外来の種類と活動、受診の流れと看護、現状と課題	(高橋)
[04] 入院を必要とする子どもと家族の看護：入院による子どもと家族への影響と反応	(吉野)
[05] 入院を必要とする子どもと家族の看護：入院環境、事故の種類と内容及び防止策	(吉野)
[06] 症状を示す子どもと家族の看護：子どもの症状の特徴、子どもと家族の看護	(高橋)
[07] ハイリスク新生児と家族の看護：ハイリスク新生児の特徴、子どもと家族の看護	(吉野)
[08] 急性期にある子どもと家族の看護：急性期の特徴、子どもと家族の看護	(吉野)
[09] 慢性期にある子どもと家族の看護：小児慢性特定疾患について、子どもや家族の特徴と看護	(吉野)
[10] 慢性期にある子どもと家族の看護：成人期への移行過程にある子どもの問題と課題	(吉野)
[11] 生活制限のある子どもと家族の看護：生活制限とは、感染症をもつ子どもの看護(隔離)	(吉野)
[12] 生活制限のある子どもと家族の看護：活動制限・食事制限の目的と看護	(吉野)
[13] 検査や処置を受ける子どもと家族の看護：検査・処置総論	(高橋)
[14] 検査や処置を受ける子どもと家族の看護：プレパレーションの目的と実際、検査・処置時の看護	(高橋)
[15] 周手術期にある子どもと家族の看護：術前・術後の看護、退院に向けての看護	(吉野)
[16] 終末期にある子どもと家族の看護：終末期とは、緩和ケア、デスエデュケーション	(吉野)
[17] 障害をもつ子どもと家族の看護：心身に障害のある子どもの特徴、在宅療養と看護	(高橋)
[18] 障害をもつ子どもと家族の看護：災害時の看護、子どもが受ける影響、災害への備え	(高橋)
[19] 健康障害をもつ子どもの看護過程－演習(情報の分類と整理)	(吉野・高橋)
[20] 健康障害をもつ子どもの看護過程－演習(解釈と判断1)	(吉野・高橋)
[21] 健康障害をもつ子どもの看護過程－演習(解釈と判断2)	(吉野・高橋)
[22] 健康障害をもつ子どもの看護過程－演習(全体像・看護上の問題の明確化)	(吉野・高橋)
[23] 小児看護を支える基本技術－演習(バイタルサイン測定、注射部位の固定)	(吉野・高橋・新井・光永)
[24] 小児看護を支える基本技術－演習(経口与薬、点滴の滴数調整)	(吉野・高橋・新井・光永)
[25] 小児看護を支える基本技術－演習(身体計測、環境整備)	(吉野・高橋・新井・光永)
[26] 小児看護を支える基本技術－演習(抑制、採血・腰椎穿刺の固定)	(吉野・高橋・新井・光永)
[27] プレパレーション演習(対象理解)	(大野)
[28] プレパレーション演習(計画立案)	(大野)
[29] プレパレーション演習(ツールの作成)	(大野)
[30] プレパレーション演習(発表)	(大野)

【教科書】

1. 奈良間美保他(2020) 系統看護学講座小児看護学(1) 小児看護学概論・小児臨床看護総論, 医学書院
2. 奈良間美保他(2020) 系統看護学講座小児看護学(2) 小児臨床看護各論, 医学書院

【参考書】

1. 今野美紀、二宮啓子編集(2017) 小児看護技術 改訂第3版 南江堂
2. 中野綾美編集(2023) ナーシング・グラフィカ 小児看護学②小児看護技術 第5版 メディカ出版
3. 松森直美、蝦名美智子編集(2012) 小児看護ケアモデル実践集 へるす出版
4. 及川郁子、田代弘子編集(2007) 病気の子どもへのプレパレーション 中央法規
5. 小林京子、高橋孝雄編集(2022) 健康障害をもつ小児の看護 第7版 メヂカルフレンド社
6. 伊藤龍子編集(2012) 子どもの看護技術 医歯薬出版株式会社
7. 山元恵子監修(2020) 写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディアカ

【評価方法・評価基準】

定期試験 70%、課題レポート等の提出 30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行う。(1時間)

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行う。(1時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

個人が演習で作成した課題に関しては、教員への提出後、評価し返却する。

【備考】

特になし